

Q 24：審査結果通知で選外だった場合は結果についての問い合わせはできるのですか。

A 24：電話による問い合わせには応じられません。質問等は彫刻部メールアドレスにお問い合わせください。なお、彫刻部懇親会には、選外となった方にもご参加いただけます。

※準備の都合上、参加希望の方はご連絡メールを8月31日までに彫刻部宛にください

・作品の展示について・

Q 25：35³部門の作品展示方法は「展示台利用による」とありますが、どのようなものか教えてください。

A 25：①②③④のいずれかの展示台を使用します。床に直置きでの展示方法は採用しません。

- ①美術館備品 規格：W35cm×D35cm×H110cmの展示台/鉄フレーム [1点展示]
 ②美術館備品の陳列用サイコロ(大) 規格：W35cm×D35cm×H65cm / 白色 [1点展示]
 ③美術館備品の陳列用サイコロ(大) 規格：W35cm×D35cm×H65cm / 白色と展示台 規格：W180cm×D90cm×H5cm / 白色を組み合わせた陳列台 [大型の天板に複数作品を展示]
 ④美術館備品の陳列用サイコロ(大)と(小)を重ねた展示台 規格：(W35cm×D35cm×H65cm + W35cm×D20cm×H15cm 2個・白色) 合計 H80cm [1点展示]

※会場構成・展示方法はその年の新制作展彫刻部の展示方針によって決定します

①の鉄フレームの展示台はサイズ違い(規格：W40cm×D40cm×H100cm等)を使用することもあります

Q 26：作品の展示・陳列作業に出品者は参加できるのですか。

A 26：展示・陳列は、原則的に出品者自身、あるいは(出品者が適切に委任した)代理人によって行いますのでご参加ください。やむをえず参加が叶わない場合は、すべての情報を記載した詳細な指示書(文字情報および作品配置図・写真を含むこと)を作成し作品に添付するか、8月31日までに新制作協会彫刻部のメールアドレスまで提出してください。

・新制作展の賞ならびに展覧会会期について・

Q 27：35³部門の出品作品が新作家賞を受賞することも可能ですか。

A 27：新作家賞の受賞は可能です。一般公募部門と35³部門のすべての入選作品を対象に厳正な審査を行い、協会賞・新作家賞の授賞作品・授賞作家を選びます。受賞者には新制作協会会員が制作した賞牌と賞状が授与され、次年度から新制作協会彫刻部協友となります。

Q 28：新作家賞を受賞した場合は、その後に開催される受賞作家展もサイズ限定ですか。

A 28：翌年の1~3月に開催する受賞作家展への出品を招待されます。出品作品は受賞作品と同じ部門の規定が適用され、未発表の作品を発表することができます。これまで、銀座松坂屋画廊 現代彫刻センター ギャラリーせいほう 建築会館ギャラリーなどで開催しております。

Q 29：次年度シード作家になることも可能ですか。

A 29：受賞者の中から次年度に無審査で2点まで出品できる権利が付与されるシード作家を決定しますが、両部門の受賞者がその選考対象になります。

Q 30：展覧会初日に授賞式がありますが参加した方が良いですか。

A 30：会期は12日間、その初日に授賞式が行われます。式は彫刻部だけではなく、絵画部・スペースデザイン部の受賞者、新会員、会員、出品者も多数参加します。新制作協会全体の交流の場となりますのでぜひご参加ください。また、毎週金曜日は20時まで開場の夜間開館日となります。(入場は19時30分まで)

Q 31：展覧会初日にオープニング・トークがありますが参加した方が良いですか。

A 31：オープニング・トークではその年に推荐された新会員と受賞者からのコメントや作品制作のエピソードが語られ、質疑応答があります。当日は多くの会員、出品者、来場者が参加し和やかな雰囲気の中で作品を通じた交流を深めることができますので、ぜひご参加ください。

Q 32：展覧会初日に懇親会がありますが参加した方が良いですか。

A 32：当日は多くの会員、出品者が参加し、飲食を共にしながらの和やかな懇談の場となり、より親密な交流が深められます。ぜひともご参集ください。

Q 33：展覧会の会期中にギャラリー・トークがありますが参加した方が良いですか。

A 33：各年の彫刻部の企画として開催しています。その年のテーマに沿ったトークやレクチャーを数名の会員から聞くことができます。多くの会員、出品者、来場者が参加しますので、ぜひご参加いただき知見を深めてください。

・作品の搬出並びに巡回展について・

Q 34：展覧会最終日はどのようにになりますか。

A 34：最終日は14時までです。(最終日の入場は13時30分まで)

- 14時から作品撤去作業を行います。原則的に出品者自身、あるいは代理人(出品者が適切に委任した者)によって行ってください。やむをえず参加が叶わない場合は、すべての情報を記載した詳細な指示書(文字情報および作品図を含むこと)を作成し、作品に添付するか、8月31日までに新制作協会彫刻部のメールアドレスまで提出してください
- 撤去片付け作業後解散となります。搬出は次の日以降の2日間となりますが、当日の搬出も可能です。業者委託の作品は業者が仕分けし保管・搬送返却されます

Q 35：東京以外で開催している巡回展(京都展・名古屋展)に出品できますか。

A 35：出品可能です。日程・会場などの詳細は各巡回展の出品要綱を確認してください。参加する場合は入選者アンケートの回答にてエントリーしてください。出品料・運送代・懇親会費が別途かかります。〔京都展：京都市京セラ美術館、名古屋展：愛知県立美術館ギャラリー〕

新制作協会の公式ホームページ・SNSとは別に彫刻部のfacebook・インスタグラム・Xがあります。ぜひ、登録 いいね！ボタンをお願いします。
 ※応募希望者は公式ホームページにて応募規定をご確認ください
 URL: <https://www.shinseisaku.net/>
 ※応募規定/パンフレットの郵送も承りますので事務局まで



新制作協会 HP



彫刻部 facebook



彫刻部 instagram



彫刻部 X



新制作協会

〒160-0022

東京都新宿区

新宿 6-28-10

大阪屋ビル 202

Tel:03-6233-7008

(月火木 11-16:00)

e-mail:

webmaster@

shinseisaku.net

SHINSEISAKU

新制作協会 彫刻の新しい公募部門

35³

サンゴークューブ



small is more . small is great!

Q & A 35³

QUESTIONS

新制作協会 彫刻部

・趣旨・応募規定について・

Q 1：彫刻部の35³部門はどのような意図で創設したのですか。一般公募部門との違いはどこですか。

A 1：空間全体を含めた新たな彫刻表現・ドローイングへのチャレンジの場として開設します。サイズを小さく、重量を軽くすることで素材・技法・構造、さらには彫刻の概念的なあり方としての“構造”と新たな出会いと発見を期待しています。また大きな作品の中に埋没しがちなサイズの作品に、別の角度からのスポットライトを当てたいと考えています。一般公募部門との違いは、これまでの新制作・彫刻の伝統を土台しつつそれを持ち超えた造形表現の可能性の探究であり、この点は作品の大小を超越して共通しているのですが、出品作品の大きさに制限がないカテゴリーと、限定された大きさの中での密度のある空間表現というの大きな違いです。サイズフリーの一般公募部門とリミテッドサイズの35キューブ部門を設ける事によりこの時代の彫刻の可能性への複層的なチャレンジと観覧者の展示空間の活性化を図りたいと願っています。

Q 2：応募規定にある35³部門のサイズと重量の制限はどのくらいまでですか。サイズオーバーしている場合は、応募不可ですか。

A 2：サイズは35cm×35cm×35cm以内、重量は台に展示する場合、及び吊り下げ展示の場合は30kgまで、壁面展示の場合は10kgまでです。サイズオーバーしている作品の応募は認められません。サイズフリーの一般公募部門に応募してください。

Q 3：サイズは35cm立方までとのことですが、幅または奥行きの長辺は対角として捉えることや体積計算や3辺の合計が105cm以内でも可能ですか。

A 3：35cm立方に収まり、安全かつ安定して自立する作品であれば（例えば1つの角を支点にして設置するなど）応募することは可能です。ただし、安全に作品を支えるための台座等の構造物も含めて35cm立方の空間に収めてください。体積や3辺の合計がサイズ内でも35cm立方に収まらない場合は一般公募部門への応募をお勧めします。

Q 4：35³部門の規定サイズに収まる頭像や胸像を出品する予定ですが、頭像などは一般公募部門に応募したほうがよいですか。

A 4：応募に際しての意向は、応募者本人の判断に委ねます。35³部門の開設計画（※Q&A1参照）を十分に踏まえた上で、空間・素材・技法に関する新たな挑戦者として制作された作品であれば応募可能です。審査の際には上記の条件を満たすと判断され、かつ質の高い作品であると判断された場合に入選となります。

Q 5：スペースデザイン部の「ミニチュアール作品公募」との違いを教えてください。

A 5：35³部門はフィナーアートとして表現された作品を対象としています。スペースデザイン部の「ミニチュアール作品公募」ではデザイン・クラフト領域における新たな表現として作品公募を行なっています。作品のサイズの規定も25kg以内・100h×35w×35d/cmと異なります。

・応募作品について・

Q 6：素材はどのようなものでも可能ですか。

A 6：国立新美術館の各種規定および新制作協会ホームページの応募規定の「・作品の取り扱い・搬入作品について」を順守した上で、自由に新しい素材や異種の素材とのコラボレーションにチャレンジしてください。搬入に際しては作品の破損が無いように梱包等、細心の注意をはらってください。

Q 7：組作品なのですが、サイズ内であればパーツは幾つでも可能ですか。

A 7：可能です。陳列当日は会場全体の作業と個人の作品設置を並行して行うため、個人の作業はおおむね2時間程度に収まるよう計画してください。安定・安全性に留意して制作してください。＊パーツ構成作品等空間上の位置指定が必要な場合は必ず、エントリースーツ・配置図[上からの配置を描いた図]・スケッチ、あるいは配置図に上方から撮影の写真を貼り付けて提出してください]（単体作品の場合の提出は任意）

Q 8：インスタレーション作品の応募は可能ですか。

A 8：応募できます。応募の際にインスタレーションである旨のコメントを入れてください。平面図での配置予定図をエントリースーツ・配置図にスケッチなどを描いて提出してください。入選した場合、陳列時に過度に複雑な作業にならないようにしてください。陳列当日は会場全体の作業と個人の作品設置を並行して行います。個人の作業はおおむね2時間程度に収めるよう留意してください。展示の際に応募時の作品と大幅に相違があると判断された場合、入選を取り消すことがあります。

Q 9：電気を使う作品の応募は可能ですか。

A 9：可能です。使用電源は、1作品につきAC100V/500W用コンセント1個口までとします。延長コードは持参してください。DC乾電池も使用可ですが会期中の電池切れには留意してください。ただし、作品周辺からのライトアップ・照射用スポットライトなどは持ち込み不可とします。また当該作品に合わせて会場全体の照明を調整すること（暗くする、暗室を作るなど）はできません。他の作品に影響を与えない範囲で使用するようにしてください。あわせて、他の作品に振動や音響等を含む環境的な要因による影響を与えることのないよう留意してください。

Q 10：3Dプリンターで制作した作品の応募は可能ですか。

A 10：応募できます。ただし、制作方法に拘わらず、オリジナルであること。第三者の作品の複製を含めて著作権・法令等に抵触する問題を解決できていない作品は応募することができません。入選後に上記の問題が判明した場合は入選を取り消します。

Q 11：壁面を使用する作品の応募は可能ですか。

A 11：応募できます。壁面展示を意図した作品の応募を希望する場合、重量制限10kgです。ワイヤー使用による展示、もしくは釘を使用した固定による展示が可能です。（使用可能な釘の長さは最大30mmです）

Q 12：天井から吊るす作品の応募は可能ですか。

A 12：応募できます。ワイヤー等で吊るすことができます。ワイヤーの素材・作品の支点の構造を含めて、会期中に落下や破損等がないよう、必ず安全性に留意して制作してください。重量制限は30kgです。天井からの固定具は用意しますが吊るワイヤー等は自分で準備してください。応募の際の写真は必ず吊った状態で撮影してください。

Q 13：「応募する際に作品は完成していること」と応募規定に記載されていますが、搬入までに更に手を加えることはできますか。

A 13：できません。応募時点の写真・データを基準にして入選/選外を決めているため搬入時点において、明らかに手を加えていると判断される場合は、入選が取り消される可能性があります。

Q 14：一般公募部門と35³部門の2部門に応募することはできますか。

A 14：可能です。2部門同時応募は、それぞれのサイズ・出品料の規定に則り可能です。応募部門の作品ごとに写真データと作品情報をまとめて、Google フォームまたはデータ添付のメールでエントリーしてください。

・応募方法・応募料・出品料について・

Q 15：一般公募・35³部門ともにデータ審査ですがどのような応募方法ですか。

A 15：作品の画像データを合計6枚と配置図1枚（任意提出）を準備します。画像データは①側面（右）②正面 ③側面（左）④背面 と⑤任意の角度もしくは部分の拡大画像⑥高さ21cmの500mlのペットボトルを作品横に置いて全体像を撮影した写真⑦エントリースーツ・配置図（任意提出）＊写真撮影はできるだけ無背景となるようにし、作品が歪まないようカメラの高さ、位置を工夫し①から④の角度からの撮影をする。⑤は作者の推し角度または部分のアップの写真を撮影し、⑥で全体の高さと大きさがわかるように500mlのペットボトル（推奨：ポカリスエット）を傍に置き撮影する。これらの画像データと共に⑦を留意する。⑦は任意提出ですが特に複数のパーツで構成する作品は必須で「エントリースーツ・配置図」にスケッチでも上部からの平面写真貼り付けでも良いのでデータ化し準備完了です。

●画像データの詳細●
＊画像サイズ：1MB～3MB程度、解像度300dpi・300万画素以上
/1枚データサイズはメールに添付の場合、送信容量の許容範囲に合わせてください

＊写真プリント（2Lサイズ）を高画質（ファイルサイズ1MB～3MB程度）でスキャンしてデータ化した画像であれば提出可能
＊既に完成した作品であることと、入選の際には撮影時点の状態の作品を出品すること

＊マケット（模型）や、デッサンの画像は受け付けなし
＊切り抜きや背景の置き換えなどを含む画像データの加工はしない
＊画像の歪みに注意して撮影する（超広角レンズは歪みが大きいので避け、作品からの距離の引きがあれば望遠気味のレンズで撮影）
次に①から⑩までの応募作品情報を応募作品毎にまとめる。

①部門・応募作品点数 ②作品題名 ③作品題名ふりがな ④作品題名英語表記（翻訳希望の場合）はその旨明記 ⑤制作意図コメント：200字以内（入選の場合キャプションQRコードにて公開）
⑥サイズ（高さ×幅×奥行cm小数点以下四捨入）
重量kg ⑧材質 ⑨展示会場の希望（屋内、野外）※35³は屋内のみ ⑩展示形態（床、台、壁、吊）※35³は台、壁、吊

応募方法は2通りありますので、どちらかの方法で応募してください。

(1) 応募専用 Google フォームに作品情報を記入し画像をアップロードして送信
(2) 彫刻部応募専用メールアドレス宛に作品情報をメール本文に記載し、画像データ添付で送信
＊(1)、(2)のいずれかの方法で送信
メールアドレスは応募期間のみ送信ができます
＊事務所に郵送または持参などの方法での応募はできません

Q 16：「応募料は無料」とありますが入選してから出品料を支払うのですか。

A 16：応募料は無料です。入選の場合、出品料（図録掲載料を含む）の支払いが必要です。＊図録掲載料：作品1点の撮影・図録図版掲載・図版写真のCD-ROM・図録1冊の費用実費負担です
＊入選者は図録掲載の作品図版によるポストカードを制作することができます ポストカード制料が別途発生します

Q 17：一般公募部門および35³部門に応募してその双方に入選した場合の出品料について教えてください。

A 17：以下の表にありますようにそれぞれに支払ってください。
＊2部門に1点ずつ入選した場合を例にすると、一般公募部門 27,000円と35³部門 20,000円の支払いが必要となります
＊1部門に複数点入選した場合は3点まで出品料は同額です

公募部門	応募料	出品料 図録掲載料を含む	入選点数	8ヶ月間の送料 ※送料は希望者のみ	ポストカード 希望者のみ
一般公募部門	0	27,000	3点まで同額	－	6,500
一般公募部門U35	0	20,000	3点まで同額	－	6,500
35 ³ 部門	0	20,000	3点まで同額	5,000	6,500

Q 18：年齢は35歳以下ですが、35³部門ではU35の特典はないのですか。

A 18：35³部門の出品料は一般公募部門の35歳以下と同じ20,000円（図録掲載料含む）ですので特別な措置はありません。

Q 19：図録掲載はどのようなスタイルになりますか。

A 19：2部門に分けてすべての入選者の入選作品1点（図版・名前・題名）を掲載します。2部門に入選の場合は各部門に1点ずつの2点を図録掲載しますので、出品料（図録掲載料含む）も2部門分を納入してください。

・作品の搬入方法について・

Q 20：[35³やちゅうだバック]（35³専用宅配便搬入代行）とはどんなものですか。開梱などは自分でするのですか。

A 20：35³部門の入選作品の搬入は発送が簡単な宅配便で行うことを基本とします。（株）谷中田美術 新制作展彫刻部「35³」受付係まで作品を元払いで指定期間内に到着するよう配達日指定をして発送してください。谷中田美術が一括して美術館への搬入・開梱・梱包材保管等の作業代行を均一料金で行います。
※35³やちゅうだバック：

35キューブの搬入に限定した一括代行システムです。谷中田美術がすべての搬入作業を代行する仕組みで、出品者から期日までに宅配便で届いた作品を谷中田美術に一時保管し、搬入日に美術館へ一括搬入、手続きをして開梱します。梱包材は一時保管され、展覧会終了後に一括して撤去・搬出し各出品者へ梱包、返送されます。
35³やちゅうだバックの代金5,000円は彫刻部に納入。別途、谷中田美術までの元払い宅配便費用・搬入の着払い宅配便費用は自己負担となります。
（※宅配便はサイズまたは重量の大きい方で料金を決定。クロネコヤマト宅急便：200サイズ・30kg / ゆうパック：170サイズ・25kg / 重量ゆうパック200サイズ・30kg）

Q 21：[35³やちゅうだバック]が搬入の基本とありますが直接搬入はできますか。

A 21：事前に彫刻部宛にメールでご連絡をください。搬入指定日に美術館への直接搬入ができます。搬入に際して出品料などは受付に現金で納入してください。郵便振り込みを既に完了の場合は振り込め原票またはコピーを受付に提示してください。この場合は搬出も同様にしてください。なお、国立新美術館宛に宅配便で送付して搬入することはできません。送付しても作品は一切受け取ることができませんので留意ください。一般公募部門の作品と35³部門の作品を同梱して搬入する場合は、必ず指定業者への委託をするか、[35³やちゅうだバック]と併用して別便で運ぶか、またはすべてを自己搬送で行ってください。

・審査結果について・

Q 22：審査結果の通知はどのような方法ですか。

A 22：応募者全員に以下の①から③の方法で通知します。
①応募者全員にメールで通知します・・・8月下旬
②新制作協会当ホームページに入選者氏名を掲載します・・・9月上旬
③審査結果の書面を応募者全員に郵送にて通知し、会期中いつでも入場できる応募者証を発行、招待券なども同封します・・・9月上旬

Q 23：入選通知がきた場合のその後の手続き等の流れを教えてください。

A 23：次のような流れになります。
■入選作品出品料（図録掲載料含む）、35³やちゅうだバック手数料、ポストカード制料（希望者のみ）※入選者は図録掲載の作品図版によるポストカード制作ができます。期日までに郵便振込で彫刻部へお支払いください（振込手数料は本人負担）詳細は審査結果通知書にて
■Google フォームの入選者アンケートに回答してください。ポストカード、巡回展参加などの申し込みもアンケート回答からできます
■作品をしっかりと梱包して、必要事項を記載の応募目録を同封して期間内に谷中田美術に到着する配達希望日を指定し宅配便の発送を手配する
■作品陳列日当日は国立新美術館地下1階バックヤード 新制作作品整理室に9:50までに集合
※陳列作業は10:00～15:00
※昼食・飲料は新制作協会で用意します